《令和7年度テーマ》

物流拠点がはたす 掛川市発展の可能性について

掛川市議会
環境産業委員会

目次

01 テーマ選定理由
02 物流業界の現状課題
03 物流業界や国の取組
04 掛川市における立地の可能性
05 掛川市にとっての意義
06 政策提言に向けた素案

01 テーマ選定理由

掛川市の産業振興を考えていく中で、近隣には港や空港、市を横断する形で主要高速道路といった充実したインフラに恵まれ、工業都市として発展してきた。

立地優位性を最大限に活かすため、物流は欠かすことの出来ない産業であり、さらに深く研究する必要があると考えました。

将来にわたる掛川市の産業振興において、物流拠点がどれほど有効な役割をはたすかを調査研究することが本テーマの設定理由です。

02 物流業界の現状課題

【2024年問題とは】

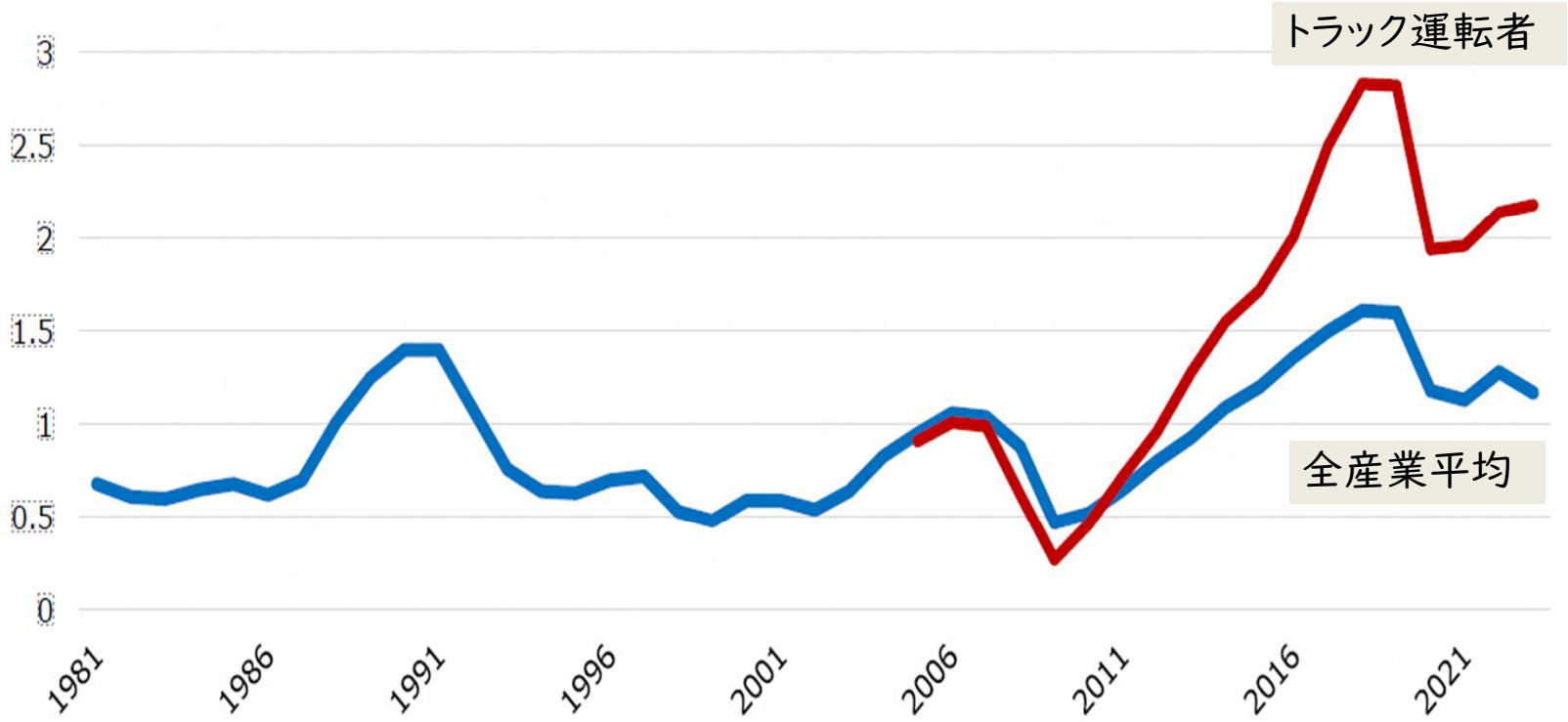
1　ドライバーの不足

2　輸送力の低下

課題

トラック運転者の人手不足

有効求人倍率の推移

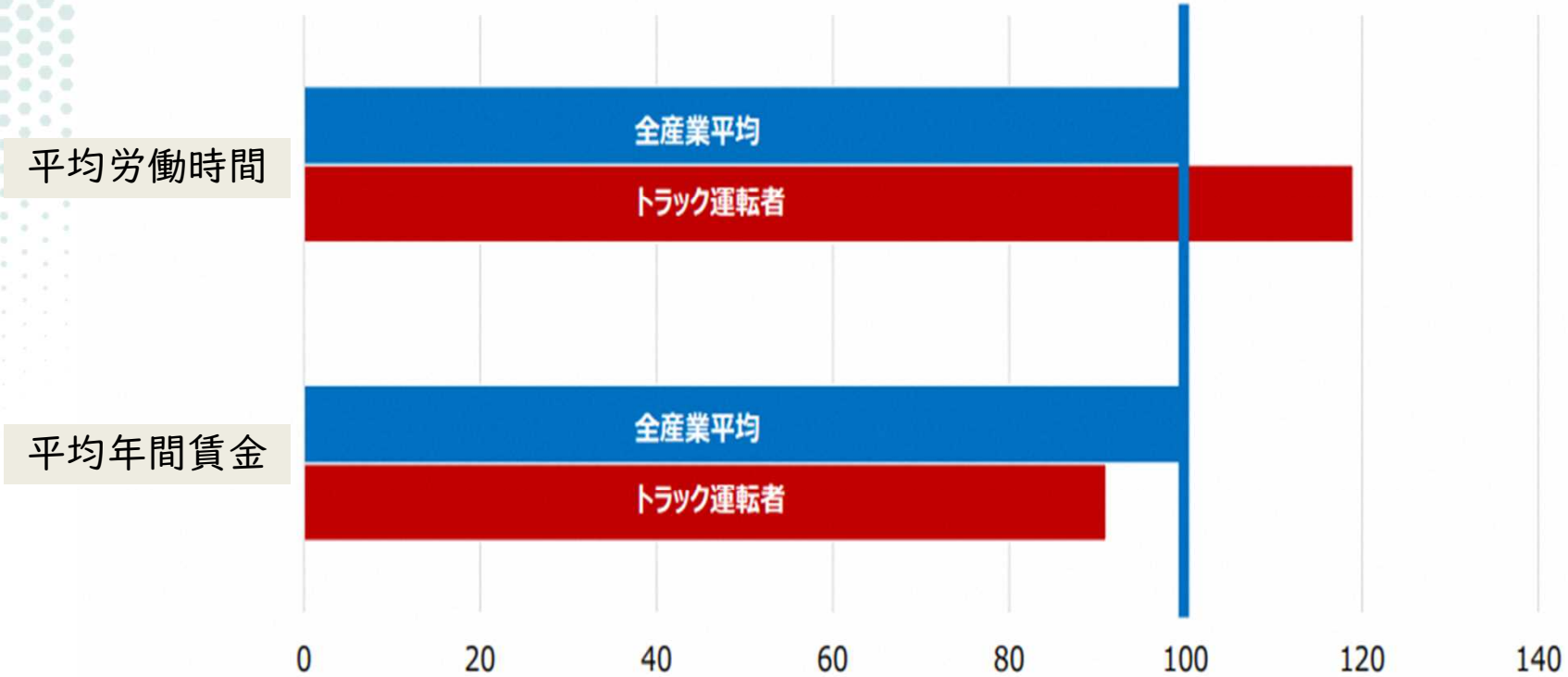


出典：厚生労働省「職業安定業務統計」

課題

トラック運転者の労働条件

平均労働時間と平均年間賃金の比較（2022）



出典：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

課題

物流の「2024年問題」

対策を講じない場合の輸送力の推移

出典：国土交通省調べ

私たちのくらしの影響は？

1　品揃えの不足

2　スピード配送の遅れ

3　運送料金の値上がり

03 物流業界や国の取組

1　労働環境改善

2　積載率向上

3　新技術の導入

注目！

ドライバーの労働環境の改善

中継拠点にて
ドライバー交代

長距離運転してきたドライバーがリフレッシュできる空間づくり

休憩スペース

シャワールーム

ドライバーの労働環境の改善

多様な受取方法

置き配　日時・時間指定　宅配ロッカー

マンション内の一括配送サービス
出典：大和ライフネクスト（株）

地域における共同分担

荷捌き駐車施設の例

宮崎県西米良村（小川地区）における
３社の宅配便の共同配送

新たな輸送手段

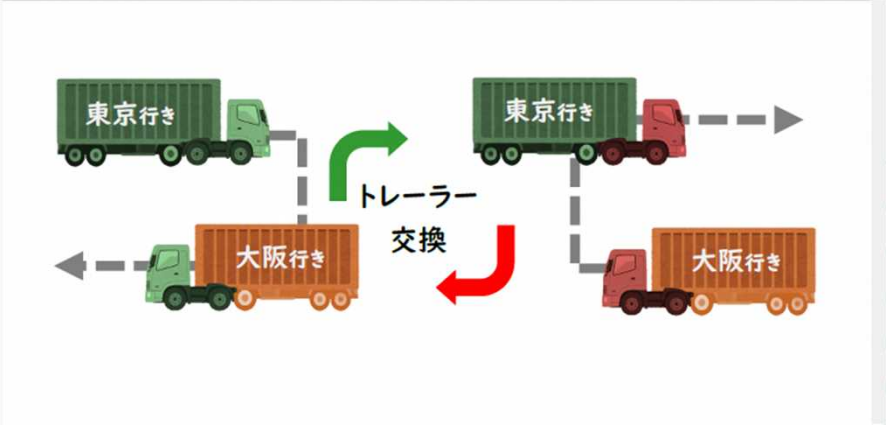
福井県敦賀市におけるドローン配送サービス
と地域集配拠点（ドローンデポ）

10台の自動配送ロボットを同時操作

注目!

積載率向上に向けた改善

中継拠点にて
トレーラー交換

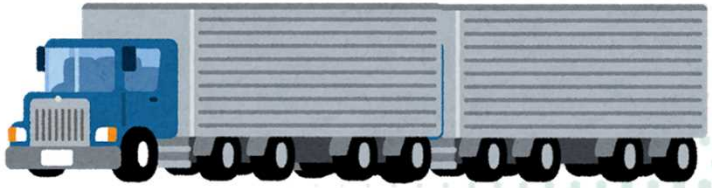


積載率向上や
効率的な積替作業

注目!

新技術導入による改善

ダブル連結トラックの導入

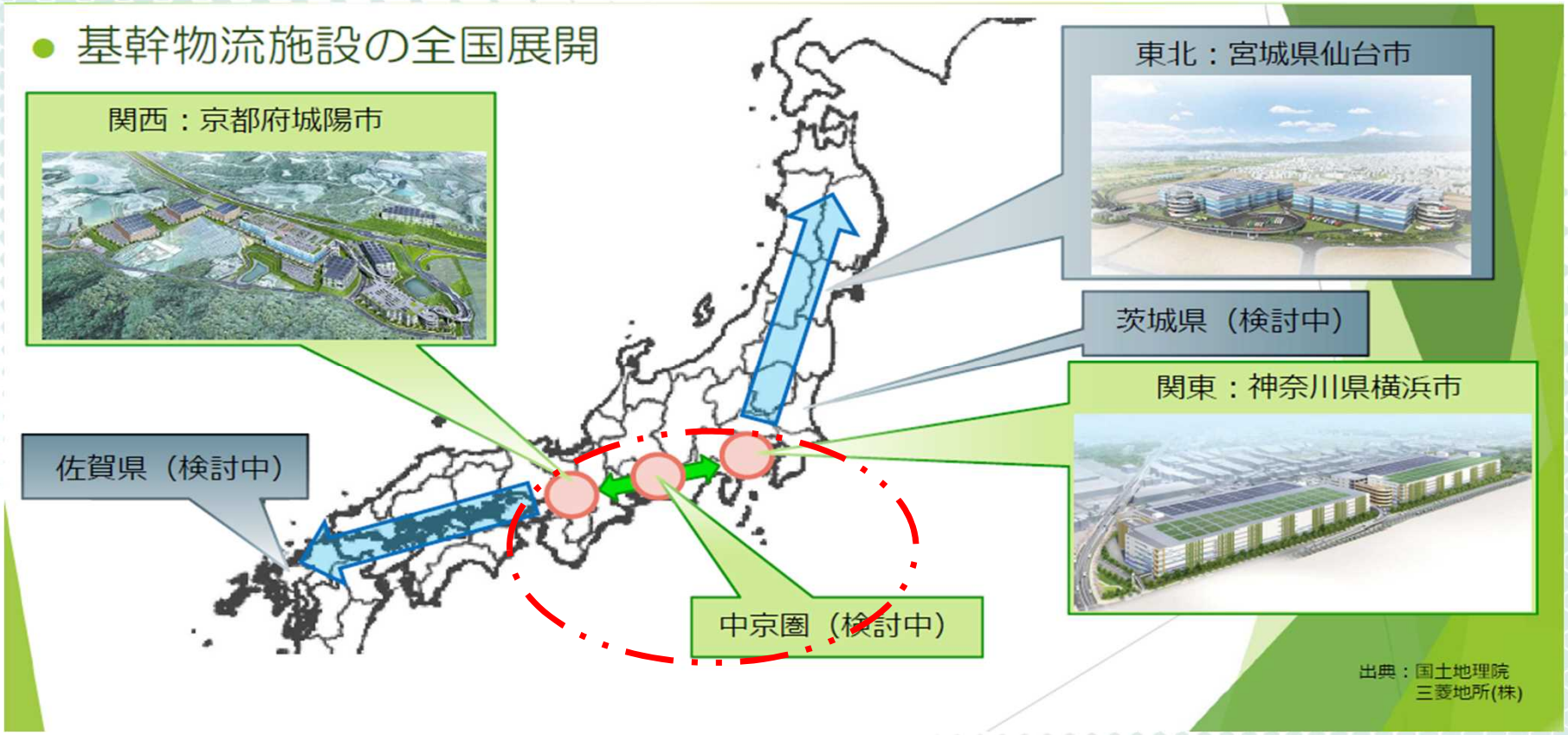


輸送力が2倍

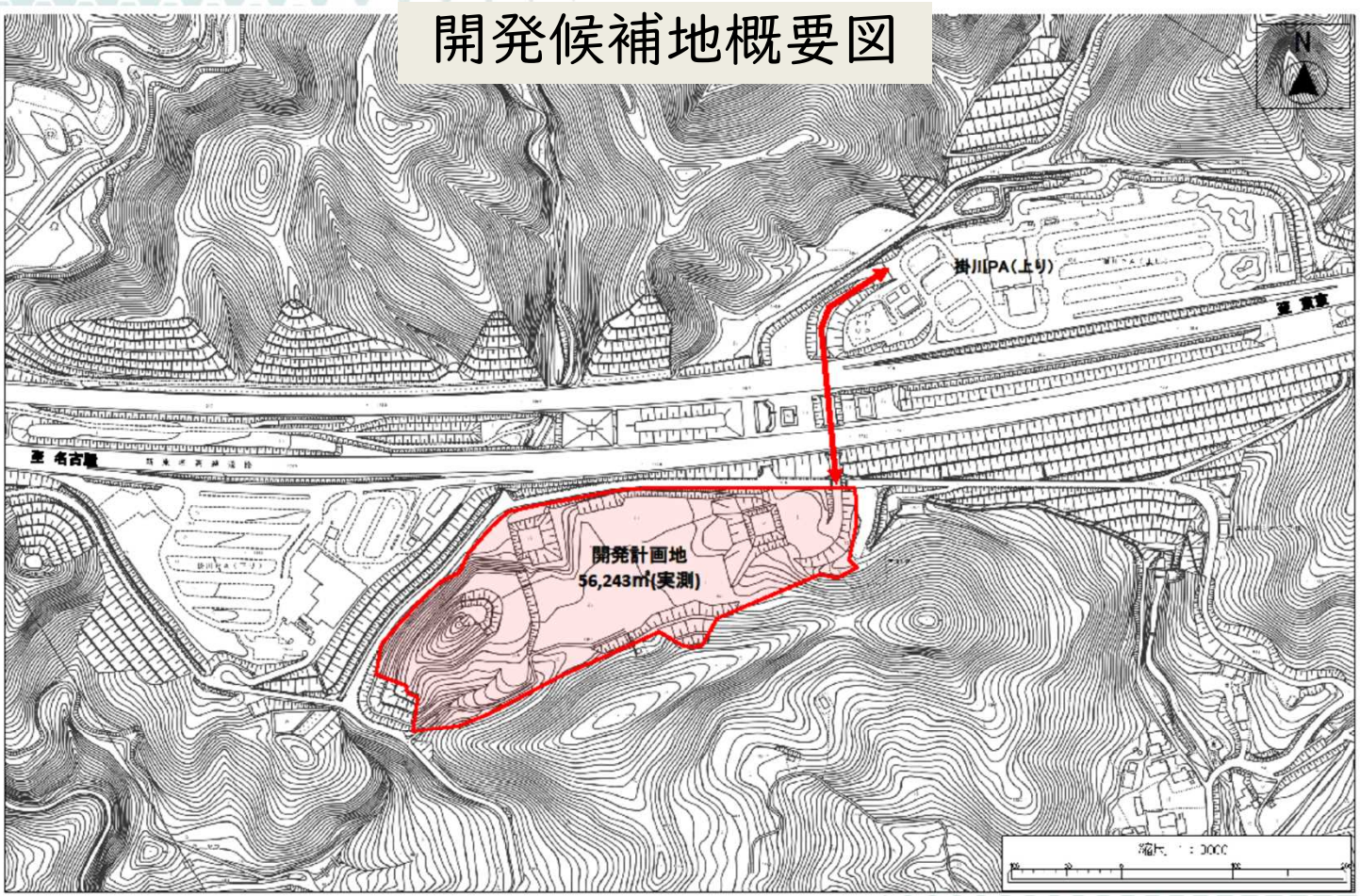
無人運転輸送車両の
許認可を急ぐ

04 掛川市における立地の可能性

国は大都市間に中継物流拠点を展開したい！



国は大都市間に中継物流拠点を展開したい！



掛川市においても、物流拠点に適した新東名沿いに開発候補地が存在する（掛川倉真第2PA）

05 掛川市にとっての意義

1　立地優位性を有効に活かす

○ 本州の真ん中に位置し、関東圏と中京圏や関西圏の間にある

○ 東名、新東名、国道1号、国道150号などの国道網を活用

○ 近隣の空港や港とつなぎ、世界貿易を見据えた展開も見込める

陸・海・空のあらゆる輸送モードを、国道網につなぐ活用ができる立地優位性を地域発展や産業振興に寄与させることは、掛川市にとって大変有意義である

掛川倉真第2PAの立地は、新東名高速道路上であり、近隣に富士山静岡空港や御前崎港にもつながる、広域物流ネットワークを形成でき、国内にとどまらず海外貿易まで見据えた可能性がある

05 掛川市にとっての意義

2 先端技術を有効に活かす

○ 高速道路を降りることなく中継拠点化する展開は全国初で唯一無二である

○ 無人運転輸送車両は、新東名での許認可の可能性が高い

○ 全国では例を見ない最新の物流拠点形成をなすことで、先進事例として自治体プロモーションを企業誘致に活用できる

各種の先端技術開発を求めて、様々な企業体が集まり、共創ビジネスプラットホームが形成される気運を高めることは、将来の掛川市にとって大変有意義である

05 掛川市にとっての意義

3 コミュニティ形成や賑わいの創出

○ 国が検討している支援策を活用して公共性、公益性の高い物流拠点整備をめざせる

○ 新たなコミュニティ空間を造り出し、賑わいの創出、地域活性化策に結びつけ、まちおこしの起点となるチャンスである。

様々な企画やイベントを積極的に実施し、地域共生として、市民に愛される憩いの場を目指すことで、地域貢献の可能性が一層高まる点は、将来の掛川市にとって大変有意義である

緑地交流スペース、カフェテリア、コンビニエンスストア託児所などを併用しコミュニティ空間を形成

出典元：日本GLP株式会社."ALFALINK相模原【GLP公式】".日本GLP【公式】. https://www.glp.com/jp/alfalink/sagamihara/,(参照2025年10月15日）

05 掛川市にとっての意義

4 大規模災害への防災体制強化

○ 南海トラフ巨大地震の可能性がある地域であるため、備えは万全を要する

○ 大規模災害発生時には、交通アクセスの寸断により、物資の供給は困難が予想されるので、事前に物流事業者と提携を結ぶことにより、災害時の物資提供が望める

広大な敷地をもとに、避難場所やヘリポートにも活用できる可能性は大規模災害時の防災体制強化につながり、掛川市にとって大変有意義である

以上、今テーマにおける調査研究の結果

○　公益性

○　立地優位性

○　将来性

物流拠点がはたす掛川市発展の可能性については

『十分に望める』

06 政策提言に向けた素案

○ 全国初となる、高速道路から降りずに物流拠点づくりなどに参画・協力して時代の先駆けを目指すこと

○ 魅力ある物流拠点の形成をもとに、さらなる企業誘致活動に繋げること

○ 立地を活かした物流拠点整備に、国が新設予定の支援制度を活用すること

○ 物流拠点を形成するにあたっては、長期的な都市計画と秩序ある土地利用を基本とすること

調査研究にご協力頂いた団体

調査研究視察

○ センコー株式会社など　　（事業者）
○ JPロジスティクス株式会社（事業者）
○ 国土交通省 物流・自動車局（関係官庁）

センコー株式会社

国土交通省 物流・自動車局

調査研究にご協力頂いた団体

意見交換会

○ 一般社団法人日本物流団体連合会 （関係団体）
○ 一般財団法人しんきん経済研究所 （有識者）
○ 大和ハウス工業株式会社 （事業者）
○ 京都府城陽市役所 （他市行政）

一般社団法人日本物流団体連合会とのオンライン会議

京都府城陽市とのオンライン会議

皆様のご意見をお待ちしております